

第19回木材保存技術奨励賞

「深浸潤処理用薬剤の開発」

茂山知己 (株式会社サイエンス 技術開発部)

鳥取大学農学部農林総合科学科卒業 (1992年), 同大学院農学研究科修了 (1994年)。

株式会社サイエンスに入社 (1994年), 中央研究所 (現技術開発部) に所属し, 主に保存処理土台並びに保存処理エンジニアードウッドの研究開発に従事, 現在に至る。

業 績 概 要

株式会社サイエンスは80年以上にわたって木材保存処理に携わってまいりました。現在は住宅資材のみならず, 景観・公園施設や, 各種木材保存剤, シロアリ工事など木材保存に関する幅広いニーズにお応えしております。

住宅資材に関しては, 従来グリーン材が大半を占めた土台に, ベイマツ KD 材に高浸透性薬剤による処理を行った KD 土台の BM ドライスケヤーを業界に先駆けて開発しました。続いて高コストで普及が進まないラミナ保存処理集成材に替わって, 製品処理の保存処理集成材を開発しました。これら乾燥土台の開発, 製造を通じて蓄積されたノウハウから全く新しい方法である深浸潤処理土台の実用化を成し遂げ, 今回さらに使いやすくなった深浸潤処理用薬剤ペンタキュア OP の開発に至りました。

今後の取り組み

品確法, 住宅瑕疵担保, 並びに200年住宅と, 住宅資材における木材保存処理のニーズは高まりつつあります。この中で土台と GL から 1 m までの範囲に限られてきた保存処理材の利用を他の部材にも拡大するために, より使いやすく, より安全で低コストな製品を提供できるように消費者側に立ったコンセプトで技術開発を進め, 住宅全体の長寿命化につながるよう努力していきたいと考えています。

主な成果報告

- (1) 茂山知己, 園部宝積: カラマツ K3 土台の開発, 第19回(社)日本木材加工技術協会年次大会講演要旨集, P.32-33 (2001).
- (2) 茂山知己, 土屋春樹, 須貝与志明, 北田正司: 深浸潤処理による保存処理木材の実用化, 第24回(社)日本木材加工技術協会年次大会講演要旨集, P.29-30 (2006).
- (3) 茂山知己, 須貝与志明, 北田正司: 深浸潤処理用薬剤ペンタキュア OP の開発とその実用化, 木材保存, **34** (3), 119-123 (2008).
- (4) 茂山知己, 園部宝積, 須貝与志明, 北田正司: 深浸潤処理用薬剤ペンタキュア OP の開発, (社)日本木材保存協会第24回年次大会研究発表論文集, P.12-17 (2008).